



知識と技術を父から学び 高品質りんごの栽培を目指す

輝くみらい人



板柳基幹支店管内

外崎 貴洋 さん (33歳)



大学卒業後、県外就職した外崎さん。父親が病で体調を崩し、農業経営を続けることができなくなつたため、就農する決意をした。「子どもの頃から農作業の手伝いをしてきたこともあり、就農に対して抵抗や不安などを感じることはなかった。農作業の技術や知識は、父親からの指導と父親が書いたメモを読むことで習得することができた」と振り返る。

就農当初は、時間に追われて仕事に余裕を持つことができなかったが、農業について学ぼううちに少しずつ自分でやりたい農業ができるようになったと話す。「工夫を凝らし、日程を決めて効率良く作業を進められるように段取りを組むようにしている」と前向きだ。

外崎さんが目指しているのは、品質を重視したりんご生産者。「高品質なりんごを消費者の方々に届け、おいしく食べてほしい」と笑顔で話した。

◎プロフィール：とのさき・たかひろ

■家族構成：祖母、母、妻、
子ども2人

■農業歴： 8年

■栽培品目：りんご

■JAへ一言：精算額の向上をよろ
しく願います